

ワイヤレス電力伝送システムにかかる技術試験事務の実施について

1. 技術試験事務の目的

- 磁界共鳴方式WPTシステムの高度利用に向けた、国内外の技術動向、利用条件、他の無線機器への影響及び伝送対象識別等制御方法等について調査検討を行う。
- 今年度は、特に、技術基準を策定するために必要な漏えい電波の強さや近傍電磁界の基準値の検討およびその測定法についての検討を実施する。

※今年度請負業者は9月末に(株)東芝に決定

2. 今年度の業務予定

- (1) 利用モデルに基づく運用条件、周波数共用に向けた技術要件等の調査検討として
 - (ア) 運用条件等の調査検討・評価
※WPT作業班での検討結果を踏まえた測定を実施予定
 - (イ) 他の無線機器への影響の調査検討・評価
- (2) 国内外の制度化・標準化・研究開発の動向調査

3. WPT試験装置

- (1) EV向けWPT装置その1 (2012年度に準備し使用)
送電周波数120kHz、送電電力3kW、伝送距離150mm、平面型コイル
- (2) EV向けWPT装置その2 (2012年度に準備し使用)
送電周波数85kHz、送電電力3kW、伝送距離150mm、ソレノイド型コイル
- (3) EV向けWPT装置その3 (2013年度に新規に準備)
(1)の試験装置を7kWクラスに拡張
- (4) 家電機器向けWPT装置 (2011年度に開発し使用)
送電周波数6.78MHz、送電電力100W、伝送距離500mm (基準値)

4. 実験予定

[1]測定その1

時期:12/9(月)~20(金)

場所:UL Japanのオープンサイトおよび電波暗室(三重県伊勢市)

実施内容:・対象機器はEV向けWPT装置その1 & その2
・放射エミッション、伝導エミッション、接触電流などを測定

※備考:期間中にWPT作業班向けの見学会を予定

[2]測定その2

時期:1月上旬~中旬(予定)

場所:TELECの電波暗室(品川)およびオープンサイト(松戸)

実施内容:・対象機器は家電機器向けWPT装置(6.78MHz帯)
・放射エミッション、伝導エミッション、接触電流などを測定

※備考:WPT作業班で検討している他の家電機器向けWPT装置の測定も追加で行う可能性あり

[3]測定その3

時期:2月中旬~下旬(予定)

場所:UL Japanのオープンサイトおよび電波暗室(三重県伊勢市)

実施内容:・対象機器はEV向けWPT装置その3
・特に放射エミッションを測定